

謝 辞

私が、日本留学以来6年半が経ち、その間の研究の集大成として、本日ここに博士論文を書き上げることができましたことを大変嬉しく思います。

早稲田大学大学院教育学研究科白井哲之教授には、博士課程の指導教官として多大なる御指導をいただき、心から感謝いたします。

同研究科の高山次嘉教授には、1年次の社会科教育研究 演習の授業を通して学会発表や学会誌論文原稿などに貴重な御助言をいただき、ここに厚くお礼を申し上げます。

同研究科の春山成子助教授（現在東京大学大学院）には、1年次の地理学研究 演習の授業を通して、貴重な御助言をいただき、感謝いたします。

また、横浜国立大学教育人間科学部影山清四郎教授、西脇保幸教授、泉谷周三郎教授には、本論文の基礎となった修士論文の作成においても、また私の留学中の研究以外の面においても多くの御支援をいただきました、心から深く感謝申し上げます。

早稲田中・高等学校非常勤教師藤谷正一先生からは、日本語のチューターとして、本論文の完成させるために熱心な御援助をいただき、心からお礼を申し上げます。

授業実践に積極的な御援助いただいた Pham Minh Loan 先生と Nguyen Thi Lan 先生及びアンケート調査を行うにあたりハノイ師範大学初等教育学部の先生方に大変お世話になりました、ご協力いただいたベトナムの小学校の先生方に感謝いたします。

最後に、研究中に資料を紹介していただいたり、日本語を教えていただいたり同輩、友人及び日本で6年間安心して、論文に集中させてくれた両親、夫、子どもたちをはじめ家族の皆様にお礼を申し上げます。

誠にありがとうございました。

2002年1月

Nguyen Thi Than